

「カンボジアにおける日系企業の進出目的及び実態に関する調査」調査結果

ポスト・ドクター（専修大学商学部兼任講師） 新島 裕基

1. 調査の目的と方法

本アンケート調査は、カンボジアの現地企業と日系企業を対象に、経営課題等を明らかにすることを目的に実施したものである。

調査の方法は、アンケート調査票を調査先の担当者にインターネットや手渡しなどを通じて配布し、42社から回答を得られた。

2. 調査結果

(1) 回答企業の概要

① 業種分類

業種に対する回答で最も多いのは製造業で、全体の約 31.0% を占めている。

表1 業種分類

選択肢	回答数	比率 (%)
製造業	13	31.0%
その他	5	11.9%
無回答	24	57.1%
合計	42	100.0%

② 設立年

設立年に対する回答で最も多いのは 2013 年で、全体の約 16.7% を占めている。次に多い回答は 2015 年で、全体の約 11.9% を占めている。

表2 設立年

設立年	2002年	2010年	2011年	2012年	2013年
回答数	1	1	1	2	7
比率 (%)	2.4%	2.4%	2.4%	4.8%	16.7%
設立年	2014年	2015年	2016年	無回答	計
回答数	3	5	1	21	42
比率 (%)	7.1%	11.9%	2.4%	50.0%	100.0%

③ 年間売上高

年間売上高に対する回答で最も多いのは100,000～300,000 \$未満で、全体の約28.6%を占めている。次に多いのは1,000,000 \$以上で、全体の約26.2%を占めている。

表3 年間売上高

年間売上高	回答数	割合
100,000 \$未満	5	11.9%
100,000～300,000 \$未満	12	28.6%
300,000～500,000 \$未満	9	21.4%
500,000～1,000,000 \$未満	3	7.1%
1,000,000 \$以上	11	26.2%
無回答	2	4.8%
合計	42	100.0%

④ 正社員数

正社員数に対する回答で最も多いのは、201人以上で全体の約40.5%を占め、次に多いのは、1人～50人で、全体の約28.6%を占めている。

表4 正社員数

選択肢	回答数	比率 (%)
1人～50人	12	28.6%
51人～200人	7	16.7%
201人以上	17	40.5%
無回答	6	14.3%
合計	42	100.0%

⑤ 主な輸出国

主な輸出国で最も多い回答は、日本で全体の約22.7%を占めている。次に多いのは、その他のASEAN諸国で全体の約21.2%を占めている。

表5 主な輸出国

選択肢	回答数	比率 (%)
カンボジア (国内)	8	12.1%
ミャンマー	1	1.5%
タイ	10	15.2%
ベトナム	8	12.1%
ラオス	4	6.1%
上記以外のASEAN諸国	14	21.2%
日本	15	22.7%
その他	6	9.1%
無回答	0	0.0%
合計	66	100.0%

⑥ 主な輸出国での主な販売先

主な輸出国での主な販売先で最も多い回答は、日系系列企業およびカンボジアローカル企業で、それぞれ全体の約31.3%を占めている。次に多いのは、非日系外資系企業で全体の約16.7%を占めている。

表6 主な輸出国における主な販売先

選択肢	回答数	比率 (%)
日系系列企業	15	31.3%
非日系外資系企業	8	16.7%
カンボジアローカル企業	15	31.3%
日系非系列企業	3	6.3%
その他	3	6.3%
無回答	4	8.3%
合計	48	100.0%

⑦ 主な輸入国

主な輸入国で最も多い回答は、その他の ASEAN 諸国で全体の約 18.5% を占めている。次に多いのは、タイで全体の約 17.3% を占めている。

表 7 主な輸入国

選択肢	回答数	比率 (%)
カンボジア (国内)	6	7.4%
ミャンマー	0	0.0%
タイ	14	17.3%
ベトナム	10	12.3%
ラオス	5	6.2%
上記以外の ASEAN 諸国	15	18.5%
日本	13	16.0%
その他	18	22.2%
無回答	0	0.0%
合計	81	100.0%

⑧ 主な輸入国での主な調達先

主な輸入国での主な調達先で最も多い回答は、日系系列企業で全体の約 35.4% を占めている。次に多いのは、カンボジアローカル企業で全体の約 25.0% を占めている。

表 8 主な輸入国での主な調達先

選択肢	回答数	比率 (%)
日系系列企業	17	35.4%
非日系外資系企業	6	12.5%
カンボジアローカル企業	12	25.0%
日系非系列企業	2	4.2%
現地非系列企業	5	10.4%
その他	6	12.5%
無回答	0	0.0%
合計	48	100.0%

(2) 設問 1. カンボジア進出を決定する決め手となったもの

カンボジア進出を決定する決め手となった理由で最も多い回答は、「親会社からの勧誘・支援があったから」で全体の約 28.6% を占めている。次に多いのは、「良い現地パートナーが獲得できたから」および「支援機関や商社からの支援があったから」で、それぞれ全体の約 17.5% を占めている。

表 9 設問 1 の回答結果 (複数回答可)

選択肢	回答数	比率 (%)
親会社からの勧誘・支援があったから	18	28.6%
取引先からの要請・支援があったから	10	15.9%
良い現地パートナーが獲得できたから	11	17.5%
支援機関や商社からの支援があったから	11	17.5%
その他	13	20.6%
無回答	0	0.0%
合計	63	100.0%

(3) 設問2. 生産場所

生産場所で最も多い回答は、「カンボジアローカル資本系工業団地内レンタル工場で製造」で全体の約23.7%を占めている。次に多いのは、「カンボジアローカル資本系工業団地内の工場で製造」で全体の約22.0%を占めている。

表10 設問2の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
日系工業団地内レンタル工場で製造	6	10.2%
カンボジアローカル資本系工業団地内レンタル工場で製造	14	23.7%
非日系外資の工業団地レンタル工場で製造	1	1.7%
工業団地以外のレンタル工場で製造	6	10.2%
日系工業団地内の工場で製造	8	13.6%
カンボジアローカル資本系工業団地内の工場で製造	13	22.0%
非日系外資の工業団地内の工場で製造	4	6.8%
工業団地以外の工場で製造	7	11.9%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%

(4) 設問3. 販売先

販売先で最も多い回答は、「製品は全て輸出しており、現地市場への販売はない」で全体の約33.3%を占めている。次に多いのは、「カンボジアローカル生産法人が同時に販売も行っている」で全体の約19.0%を占めている。

表11 設問3の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
カンボジアローカル生産法人が同時に販売も行っている	12	19.0%
独自の現地販売法人を設立して実施している	11	17.5%
日系の商社や販売会社に委託して販売している	6	9.5%
カンボジアローカル系の商社や販売会社に委託している	8	12.7%
製品は全て輸出しており、現地市場への販売はない	21	33.3%
その他	5	7.9%
無回答	0	0.0%
合計	63	100.0%

(5) 設問4. カンボジアでの操業における重要項目

カンボジアでの操業における重要項目で最も多い回答は、「製造コスト削減」で全体の約30.1%を占めている。次に多いのは、「流通コスト削減」で全体の約19.4%を占めている。

表12 設問4の回答結果（3項目まで回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
製造コスト削減	31	30.1%
流通コスト削減	20	19.4%
納品リードタイム削減	14	13.6%
カンボジアローカル市場の開拓・拡大	13	12.6%
取引先への部品等の供給	9	8.7%
日本への輸出	4	3.9%
第三国への輸出	4	3.9%
その他	8	7.8%
無回答	0	0.0%
合計	103	100.0%

注：4項目まで選択した回答がある。

(6) 設問5. カンボジアでの経営課題の重要性

① 展開目的を明確にすること

カンボジアでの経営課題のうち、展開目的の明確化で最も多い回答は、「やや重要である」で全体の約42.9%を占めている。次に多いのは「重要である」で全体の約33.3%を占め、これら2つで全体の約76.2%を占めている。

② 展開に向けての資金調達

カンボジアでの経営課題のうち、展開に向けての資金調達で最も多い回答は、「やや重要である」で全体の約40.5%を占めている。次に多いのは「重要である」で全体の約33.3%を占め、これら2つで全体の約73.8%を占めている。

③ 良きパートナーや人脈を得ること

カンボジアでの経営課題のうち、良きパートナーや人脈を得ることで最も多い回答は、「どちらともいえない」で全体の約33.3%を占めている。次に多いのは「重要である」および「やや重要である」で、それぞれ約28.6%を占め、これら3つで全体の約90.5%を占めている。

④ 人材の確保・育成

カンボジアでの経営課題のうち、人材の確保・育成で最も多い回答は「重要である」で全体の約40.5%を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約31.0%を占め、これら2つで全体の約71.5%を占めている。

⑤ 日本と本社と現地製造拠点とのコミュニケーション

カンボジアでの経営課題のうち、日本と本社と現地製造拠点とのコミュニケーションで最も多い回答は、「どちらともいえない」で全体の約33.3%を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約28.6%を占め、これら2つで全体の約61.9%を占めている。

表13 設問5①の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	14	33.3%
やや重要である	18	42.9%
どちらともいえない	8	19.0%
あまり重要ではない	1	2.4%
重要ではない	1	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	42	100.0%

表14 設問5②の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	14	33.3%
やや重要である	17	40.5%
どちらともいえない	10	23.8%
あまり重要ではない	0	0.0%
重要ではない	1	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	42	100.0%

表15 設問5③の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	12	28.6%
やや重要である	12	28.6%
どちらともいえない	14	33.3%
あまり重要ではない	1	2.4%
重要ではない	1	2.4%
無回答	2	4.8%
合計	42	100.0%

表16 設問5④の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	17	40.5%
やや重要である	13	31.0%
どちらともいえない	5	11.9%
あまり重要ではない	4	9.5%
重要ではない	0	0.0%
無回答	3	7.1%
合計	42	100.0%

表17 設問5⑤の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	6	14.3%
やや重要である	12	28.6%
どちらともいえない	14	33.3%
あまり重要ではない	6	14.3%
重要ではない	0	0.0%
無回答	4	9.5%
合計	42	100.0%

⑥ 賃金コスト上昇への対応

カンボジアでの経営課題のうち、賃金コスト上昇への対応で最も多い回答は、「重要である」で全体の約31%を占めている。次に多いのは「やや重要である」および「どちらともいえない」で、それぞれ全体の約26.2%を占め、これら3つで全体の約83.4%を占めている。

表18 設問5⑥の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	13	31.0%
やや重要である	11	26.2%
どちらともいえない	11	26.2%
あまり重要ではない	4	9.5%
重要ではない	0	0.0%
無回答	3	7.1%
合計	42	100.0%

⑦ 物流コスト上昇への対応

カンボジアでの経営課題のうち、物流コスト上昇への対応で最も多い回答は、「どちらともいえない」で全体の約38.1%を占めている。次に多いのは「重要である」で全体の約28.6%を占め、これら2つで全体の約66.7%を占めている。

表19 設問5⑦の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	12	28.6%
やや重要である	7	16.7%
どちらともいえない	16	38.1%
あまり重要ではない	2	4.8%
重要ではない	1	2.4%
無回答	4	9.5%
合計	42	100.0%

⑧ カンボジアでの販売先の拡大

カンボジアでの経営課題のうち、カンボジアでの販売先の拡大で最も多い回答は、「やや重要である」で全体の約31.0%を占めている。次に多いのは「どちらともいえない」で全体の約28.6%を占め、これら2つで全体の約59.6%を占めている。

表20 設問5⑧の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	9	21.4%
やや重要である	13	31.0%
どちらともいえない	12	28.6%
あまり重要ではない	6	14.3%
重要ではない	2	4.8%
無回答	0	0.0%
合計	42	100.0%

⑨ 原材料などの調達先の確保

カンボジアでの経営課題のうち、原材料などの調達先の確保で最も多い回答は、「重要である」で全体の約40.5%を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約35.7%を占め、これら2つで全体の約76.2%を占めている。

表21 設問5⑨の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	17	40.5%
やや重要である	15	35.7%
どちらともいえない	7	16.7%
あまり重要ではない	1	2.4%
重要ではない	0	0.0%
無回答	2	4.8%
合計	42	100.0%

⑩ 品質管理

カンボジアでの経営課題のうち、品質管理で最も多い回答は、「重要である」で全体の約47.6%を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約45.2%を占め、これら2つで全体の約92.8%を占めている。

表22 設問5⑩の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	20	47.6%
やや重要である	19	45.2%
どちらともいえない	2	4.8%
あまり重要ではない	0	0.0%
重要ではない	0	0.0%
無回答	1	2.4%
合計	42	100.0%

⑪ 代金の回収

カンボジアでの経営課題のうち、代金の回収で最も多い回答は、「やや重要である」で全体の約 50.0% を占めている。次に多いのは「重要である」で全体の約 26.2% を占め、これら 2 つで全体の約 76.2% を占めている。

⑫ 知識やノウハウなど知的財産保護

カンボジアでの経営課題のうち、知識やノウハウなど知的財産保護で最も多い回答は、「どちらともいえない」で全体の約 45.2% を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約 26.2% を占め、これら 2 つで全体の約 71.4% を占めている。

⑬ 工業団地の立地場所

カンボジアでの経営課題のうち、工業団地の立地場所で最も多い回答は、「やや重要である」で全体の約 35.7% を占めている。次に多いのは「どちらともいえない」で全体の約 28.6% を占め、これら 2 つで全体の約 64.3% を占めている。

⑭ インフラ整備状況

カンボジアでの経営課題のうち、インフラ整備状況で最も多い回答は、「どちらともいえない」で全体の約 33.3% を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約 28.6% を占め、これら 2 つで全体の約 61.9% を占めている。

⑮ 国内輸送体制

カンボジアでの経営課題のうち、国内輸送体制で最も多い回答は「どちらともいえない」で全体の約 40.5% を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約 23.8% を占め、これら 2 つで全体の約 64.3% を占めている。

表 23 設問 5 ⑪の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	11	26.2%
やや重要である	21	50.0%
どちらともいえない	8	19.0%
あまり重要ではない	0	0.0%
重要ではない	1	2.4%
無回答	1	2.4%
合計	42	100.0%

表 24 設問 5 ⑫の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	6	14.3%
やや重要である	11	26.2%
どちらともいえない	19	45.2%
あまり重要ではない	5	11.9%
重要ではない	1	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	42	100.0%

表 25 設問 5 ⑬の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	7	16.7%
やや重要である	15	35.7%
どちらともいえない	12	28.6%
あまり重要ではない	5	11.9%
重要ではない	3	7.1%
無回答	0	0.0%
合計	42	100.0%

表 26 設問 5 ⑭の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	9	21.4%
やや重要である	12	28.6%
どちらともいえない	14	33.3%
あまり重要ではない	4	9.5%
重要ではない	0	0.0%
無回答	3	7.1%
合計	42	100.0%

表 27 設問 5 ⑮の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	8	19.0%
やや重要である	10	23.8%
どちらともいえない	17	40.5%
あまり重要ではない	6	14.3%
重要ではない	0	0.0%
無回答	1	2.4%
合計	42	100.0%

⑩ 輸出入・通関手続き

カンボジアでの経営課題のうち、輸出入・通関手続きで最も多い回答は、「重要である」で全体の約 38.1% を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約 31.0% を占め、これら 2 つで全体の約 69.1% を占めている。

⑪ カンボジアの規制や制度への対応

カンボジアでの経営課題のうち、カンボジアの規制や制度への対応で最も多い回答は、「重要である」で全体の約 33.3% を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約 31.0% を占め、これら 2 つで全体の約 64.3% を占めている。

⑫ 外資企業に対するカンボジア政府の方針

カンボジアでの経営課題のうち、外資企業に対するカンボジア政府の方針で最も多い回答は、「どちらともいえない」で全体の約 35.7% を占めている。次に多いのは「やや重要である」で全体の約 28.6% を占め、これら 2 つで全体の約 64.3% を占めている。

表 28 設問 5 ⑩の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	16	38.1%
やや重要である	13	31.0%
どちらともいえない	8	19.0%
あまり重要ではない	3	7.1%
重要ではない	0	0.0%
無回答	2	4.8%
合計	42	100.0%

表 29 設問 5 ⑪の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	14	33.3%
やや重要である	13	31.0%
どちらともいえない	12	28.6%
あまり重要ではない	2	4.8%
重要ではない	1	2.4%
無回答	0	0.0%
合計	42	100.0%

表 30 設問 5 ⑫の回答結果

選択肢	回答数	比率 (%)
重要である	11	26.2%
やや重要である	12	28.6%
どちらともいえない	15	35.7%
あまり重要ではない	3	7.1%
重要ではない	0	0.0%
無回答	1	2.4%
合計	42	100.0%

(7) 設問 6. カンボジアでの経営リスクの影響度

カンボジアでの経営リスクの影響度の 1 位で最も多い回答は、「賃金コスト上昇への対応」で全体の約 16.7% を占め、次に多いのは「品質管理」で全体の約 11.9% を占めている。

2 位で最も多い回答は、「品質管理」で全体の約 16.7% を占め、次に多いのは「賃金コスト上昇への対応」で全体の約 14.3% を占めている。

3 位で最も多い回答は、「カンボジアでの販売先の拡大」で全体の約 14.3% を占め、次に多いのは「物流コスト上昇への対応」で全体の約 11.9% を占めている。

表 31 設問 6 の回答結果（上位 3 項目を回答）

選択肢	リスク影響度第 1 位		リスク影響度第 2 位		リスク影響度第 3 位	
	回答数	比率 (%)	回答数	比率 (%)	回答数	比率 (%)
①展開目的を明確にすること	2	4.8%	1	2.4%	0	0.0%
②展開に向けての資金調達	2	4.8%	2	4.8%	2	4.8%
③良きパートナーや人脈を得ること	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
④人材の確保・育成	2	4.8%	4	9.5%	4	9.5%
⑤日本の本社と現地製造拠点とのコミュニケーション	0	0.0%	2	4.8%	1	2.4%
⑥賃金コスト上昇への対応	7	16.7%	6	14.3%	1	2.4%
⑦物流コスト上昇への対応	2	4.8%	0	0.0%	5	11.9%
⑧カンボジアでの販売先の拡大	2	4.8%	4	9.5%	6	14.3%
⑨原材料などの調達先の確保	3	7.1%	2	4.8%	2	4.8%
⑩品質管理	5	11.9%	7	16.7%	3	7.1%
⑪代金の回収	1	2.4%	1	2.4%	1	2.4%
⑫知識やノウハウなど知的財産保護	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
⑬工業団地の立地場所	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
⑭インフラの整備状況	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%
⑮カンボジアの国内輸送体制	0	0.0%	0	0.0%	2	4.8%
⑯輸出入・通関手続き	3	7.1%	2	4.8%	2	4.8%
⑰カンボジアの規制や制度への対応	0	0.0%	1	2.4%	1	2.4%
⑱外資企業に対するカンボジア政府の方針	3	7.1%	2	4.8%	2	4.8%
無回答	7	16.7%	8	19.0%	8	19.0%
合計	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%

（8）設問 7. カンボジアでのロジスティクスの課題

カンボジアでのロジスティクスの課題で最も多い回答は、「通関業務に関する手間」で全体の約 27.2% を占めている。次に多いのは、「道路ネットワークの整備状況」および「輸送品質（振動・温度への対応等）」で、それぞれ全体の約 19.8% を占めている。

表 32 設問 7 の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
通関業務に関する手間	22	27.2%
道路ネットワークの整備状況	16	19.8%
現地の港でのコンテナ処理能力	11	13.6%
現地の港の開港時間	8	9.9%
輸送品質（振動・温度への対応等）	16	19.8%
物流品質（誤配荷率・誤納品率・事故率等）	4	4.9%
その他	4	4.9%
無回答	0	0.0%
合計	81	100.0%

（9）設問 8. カンボジアでのロジスティクスにおける輸送業務

① カンボジア国内の輸送方法

カンボジア国内の輸送方法で最も多い回答は、「カンボジアローカル物流事業者に委託」で全体の約 52.1% を占めている。次に多いのは「日系物流事業者に委託」で全体の約 25.0% を占めている。

表 33 設問 8 ①の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
自社で輸送	8	16.7%
日系物流事業者に委託	12	25.0%
カンボジアローカル物流事業者に委託	25	52.1%
無回答	3	6.3%
合計	48	100.0%

② カンボジアからの輸出時の利用輸送手段

カンボジアからの輸出時の利用輸送手段で最も多い回答は、「船舶」で全体の約 45.2% を占めている。次に多いのは、「トラック（カンボジアローカル物流事業者に委託）」で全体の約 19.4% を占めている。なお、トラックは、自社で輸送、日系物流事業者に委託、カンボジアローカル物流事業者に委託の 3 つの合計で約 37.2% を占めている。

表 34 設問 8 ②の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
トラック（自社で輸送）	4	6.5%
トラック（日系物流事業者に委託）	7	11.3%
トラック（カンボジアローカル物流事業者に委託）	12	19.4%
鉄道	1	1.6%
船舶	28	45.2%
航空機	5	8.1%
無回答	5	8.1%
合計	62	100.0%

③ カンボジアへの輸入時の利用輸送手段

カンボジアへの輸入時の利用輸送手段で最も多い回答は、「船舶」で全体の約 46.4% を占めている。次に多いのは、「トラック（カンボジアローカル物流事業者に委託）」で全体の約 21.7% を占めている。なお、トラックは、自社で輸送、日系物流事業者に委託、カンボジアローカル物流事業者に委託の 3 つの合計で約 39.1% を占めている。

表 35 設問 8 ③の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
トラック（自社で輸送）	4	5.8%
トラック（日系物流事業者に委託）	8	11.6%
トラック（カンボジアローカル物流事業者に委託）	15	21.7%
鉄道	1	1.4%
船舶	32	46.4%
航空機	5	7.2%
無回答	4	5.8%
合計	69	100.0%

(10) 設問 9. 今後の展開先として関心のある国・地域

今後の展開先として関心のある国・地域で最も多い回答は、「カンボジア（国内）の他地域」で全体の約 26.4% を占めている。次に多いのは、「ベトナム」で全体の約 20.8% を占めている。

表 36 設問 9 の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
カンボジア（国内）の他地域	19	26.4%
ミャンマー	12	16.7%
タイ	11	15.3%
ベトナム	15	20.8%
ラオス	4	5.6%
その他	6	8.3%
無回答	5	6.9%
合計	72	100.0%

(11) 設問 10. 今後の展開先での展開形態

今後の展開先での展開形態で最も多い回答は、「業務提携（委託加工、委託販売）」および「現地法人として製造や販売の拠点を置く」で、それぞれ全体の約 22.2% を占めている。次に多いのは、「部品・原材料・完成品のカンボジアから当該国への輸出」で全体の約 17.8% を占めている。

表 37 設問 10 の回答結果（複数回答可）

選択肢	回答数	比率 (%)
部品・原材料・完成品の当該国からカンボジアへの輸入	5	11.1%
部品・原材料・完成品のカンボジアから当該国への輸出	8	17.8%
業務提携（委託加工、委託販売）	10	22.2%
現地法人として製造や販売の拠点を置く	10	22.2%
現時点では展開形態を考えていない	6	13.3%
その他	1	2.2%
無回答	5	11.1%
合計	45	100.0%